

令和 5 年度包括的支援事業・任意事業実績 (中間報告 12 月末時点)

1 地域包括支援センター運営事業

地域包括支援センター運営協議会において報告

2 在宅医療・介護連携推進事業

●在宅医療多職種連携事業

在宅医療多職種連携講演会を 2 月に実施。

●在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・二宮町保健センターに在宅医療・介護連携に関する相談窓口として連携支援センターにおいて専門職への相談支援を実施。

3 生活支援体制整備事業

●第 1 層協議体（お互いさま推進協議会）

- ・全 4 回中 3 回を開催（次回 2 月に実施）
- ・地域の通いの場や、第 2 層協議体の活動についての報告やごみ出し支援民サポ等意見交換を実施。

●第 2 層協議体（地域の協議体）

- ・一色小学校区「いちふく」と二宮小学校区「クローバーの笑・和・輪」、山西小学校区「たんぽぽささえたい」が各 3 回開催。
ごみ出しや移動に困りそうな人はどんな人か、どんなことが取り組めるか等について意見交換を行った。

●二宮町みまもりガイド

- ・令和 4 年度に作成した二宮町みまもりガイドの説明を各種団体や地域で行い、見守り活動の必要性について普及啓発を行った。

●福祉有償運送運転者講習会

- ・ 2 月に実施。

4 認知症総合支援事業

●初期集中支援推進事業

- ・認知症初期集中支援チーム対応 1 件

●地域支援・ケア向上事業

- ・認知症総合相談延べ件数 69 件
- ・このにんカフェ（認知症カフェ）の開催 16 回
- ・認知症サポーター養成講座開催 15 回
- ・認知症サポーターのつどい 5 回
- ・認知症サポーターステップアップ講座 1 回
- ・行方不明 SOS 登録者に見守りキーホルダー配布 11 名
- ・若年性アルツハイマー型認知症であるさとうみき氏、かながわオレンジ大使の望月省吾氏・パートナー鈴木しげ氏による、認知症への理解普及のための講演会を開催。
併せて、認知症当事者同士による本人ミーティングを開催。
- ・9月の世界アルツハイマー月間に、図書館の特設コーナーにおいて認知症関連図書の紹介を行ったほか、役場庁舎に特設コーナーを設置
- ・ともしびショップで認知症予防メニューの提供

5 任意事業

●介護サービス相談員派遣事業

事業所訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたが、6月より再開し9事業所で実施。相談員定例会は毎月実施。

●介護給付費適正化事業

- ・住宅改修等の点検・医療情報との突合、縦覧点検、給付費通知

●成年後見制度利用支援事業

- ・後見人等への報酬助成3件
- ・町長申立て0件

●シルバー緊急通報システム事業補助金（設置状況246名）

町社会福祉協議会の事業実施にあたり補助金を交付。昨年7月より、設置に電話回線を必要としない等機能向上を目的とした、新機種への切替を実施。開閉センサーや空間センサーなどにより、独居高齢者等の見守りにも役立っており、設置数は増加している。